



秋田県大仙市



野球に燃える

親父たちの甲子園



秋田魁新報社

全国・全県 500歳・550歳野球大会  
特別ルールブック vol.7



## ACCESS

空路情報	
東京(羽田)	秋田空港
愛知(中部国際)	秋田空港
大阪(伊丹)	秋田空港
札幌(新千歳)	秋田空港

鉄道情報	
東京	盛岡
角館	大曲
東京	山形
新庄	大曲
秋田	大曲

道路情報	
仙台南IC	北上JCT
横手IC	横手スマートIC
大曲IC	大曲IC
盛岡	大仙
秋田空港	大仙
東京	大曲バスターミナル

選手たちの永遠の目標  
王貞治さんから

メッセージをいただきました。



500歳野球、野球人として  
こんなに胸を張れる大会に参加  
することは喜ぶことが誇りですね  
勝ちも負けもない笑顔に溢れた  
野球、僕もやりたいからです  
いつかプロも出来たら  
楽しんで続けてください

2020年吉日  
王貞治



太仙生まれのスター俳優

柳葉敏郎さんから

メッセージをいただきました。



選手の皆さん憧れの大女優

吉永小百合さんから

メッセージをいただきました。

500歳野球大会出場の皆様、  
一生 現役で野球を続けられていると  
伺い、本当に素晴らしいことと思います。  
お怪我に気をつけて、大活躍して下さい。  
応援に行きたいとお聞きしたいと、  
一生懸命遠くから声援を送ります。  
頑張ってくださいね!!

2014年

吉永小百合

“500歳野球”は、秋田が誇るスポーツ文化...と自負します。  
50歳以上の野球少年(?)達が織り成すこの90分間は、  
笑いあり、涙あり、そして...  
大感動あり。  
この仲間にはこれこそ頂いていることに最高の幸せを感じて...  
“500歳野球、万歳!”  
2014年、吉日  
柳葉敏郎

## 第8回沖縄国際映画祭 『500歳野球～オヤジ達の甲子園～』出展



©2016『500歳野球～オヤジ達の甲子園～』製作委員会

「全県500歳野球大会」は、秋田県少年野球発祥の地である大仙市神岡地域(旧神岡町)で「一生現役でプレーしたい」という野球選手の願望から、1979年に産声を上げました。ルールは年齢50歳以上、ナインの合計年齢が500歳以上。「野球に燃える親父たちの甲子園」と称して、180チーム以上の親父達が野球コミュニティの輪を広げております。



監督 佐藤 貴之 TAKAYUKI SATO

1972年生まれ。仙台商業高校卒業。アリティーヴィー株式会社代表取締役。地上波テレビ局の番組ディレクターとして13年活動し独立。東北の魅力の世界に発信するためインターネットテレビ局アリティーヴィーを起業。震災後は立ち上がる東北のドキュメンタリー番組を200本以上プロデュースし東北の復興を世界にアピールしている。現在、映像の力で地域活性を図るプロジェクトやインバウンド向けの観光PR映像を多数制作している。

## 第5回スポーツ振興賞 経済産業省 商務情報政策局長賞 受賞

### 第1回 500歳野球大会

#### 野球に燃える親父たちの甲子園

主催:大仙市・秋田魁新報社(500歳・550歳野球大会実行委員会)

秋田県大仙市で行われる「全県500歳野球大会」の第1回大会は、昭和54年(1979年)に8チーム130人が集い、開催されました。その後、野球ルールを大きく変え、マスターズ(40歳以上)・選歴野球(60歳以上)の間に属する中間層の選手が最も輝ける大会となっています。出場選手9人の合計年齢が常時500歳以上で、一度退場した選手でも同じ打順であれば再登場が出来るなど、独自のルールで行われています。平成28年の第38回では、秋田県全県から184チーム4,700人の選手が参加する歴史と権威のあるマンモス大会に成長しております。平成29年度は、第1回全国500歳野球大会となり、参加者1,080人(32チーム)うち、場外600人(20チーム)が参加しました。秋田魁新報社は、大会特集号や号外を発行し、全試合の結果と個人成績を翌日の紙面に掲載し、参加選手の活躍の糧になっているとの評判です。大会は、「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、中・高齢者が野球を楽しみ、健康作りを行うことをモットーに、生涯スポーツとしての野球を続け、長寿社会の形成に資することを目的としています。将来的には47都道府県からの参加チームによる大会を目指します。

## 第25回ふるさとイベント大賞 優秀賞 受賞

農業を通じて秋田と親交のある

俳優 永島敏行さんから

メッセージをいただきました。



東京在住の私が去年映画祭や米作りで縁のある横手市十文字町の500歳野球のチームに所属させていただきました。500歳野球には僕ばかりじゃあ、勿論勝負事なので真剣に試合をしているのですがそれぞれのチームには野球経験者、野球を経験したことのない方、高齢者の方や病气などを患っている方が参加してチームが作られている。試合に出られなくともみんながみんなを支えチームが成り立っている。500歳野球は地域社会そのものなんだと気づかれました。

秋田県の素晴らしい文化なんです。500歳野球は！日本全国に広がればいいなあ！

2016年

# 全国・全県 500歳・550歳野球大会 特別ルール解説



## 【1】出場資格

- ① 大会開催年度内に満50歳(550歳野球大会は57歳)を迎える年代以上の方。
- ② ゲーム出場選手9人の合計年齢が500歳以上。  
(550歳野球大会は550歳以上)
- ③ 登録は、監督・主将を含めて30人以内。  
(550歳野球大会は25人以内と世話人5人以内)

## 【2】選手の服装・着用品

- ① ユニフォーム等は、チームで統一します。
- ② スパイクはポイントスパイク等とします。金属製金具の付いたスパイクは使用出来ません。
- ③ 捕手は、プロテクター・ヘルメット・レガーズを着用します。また、ファウルカップの着用を奨励します。打者、次打者、走者、ベースコーチも安全のためヘルメットを着用します。

## 【3】試合上の規則

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
イニング数	7	5	5
時間制限	1時間50分 (決勝戦を除く)	大会初日・2日目・3日目 1時間30分	大会初日 1時間30分
コールドゲーム	5回以降10点差 (決勝戦を除く)	4回以降10点差 (決勝戦を除く)	4回以降10点差 (決勝戦を除く)
延長戦	8回以降 タイ・ブレイク (0アウト1・2塁継続打順) (決勝戦も適用する)	大会初日・2日目・3日目ジャンケン 大会4日目を以降 6回以降タイ・ブレイク (0アウト1・2塁継続打順) (決勝戦も適用する)	大会初日 ジャンケン 大会2日目を以降 6回以降タイ・ブレイク (0アウト1・2塁継続打順) (決勝戦も適用する)

※時間制限の適用は、定められた時間を超えた場合は新しいイニングに入らない。P12「Q.時間制限の適用について」参照  
※タイ・ブレイク適用以外の同点試合のジャンケンは「同点終了時の打順1番」とします。

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
投手～本塁間	16m	16m	16m
塁間	23m	23m	23m
両翼～本塁間	80m	80m	75m
中堅～本塁間	90m	90m	85m

※バッターボックス区画やベース類は一般用のものを用います。  
※小学校会場については、外野フェンスの移設は行いません。

- ① 投手、野手にこだわらず1度ゲームを退いても、何度でも出場できます。ただし、投手がイニング途中で退いた場合、同イニングでの再登板は認められません。

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
55歳以下	アウトカウント12	アウトカウント9	—
56歳以上	制限無し	制限無し	—
59歳以下	—	—	アウトカウント9
60歳以上	—	—	制限無し

※タイ・ブレイクに至った場合は年齢制限を除外します。

- ② タイ・ブレイク時の打者、走者(三大会共通事項)  
打順は継続打順とし、走者は打者の逆順とする。
- ③ 雨天、日没によるコールドゲーム  
雨天や日没の場合、5回(全県500歳・550歳大会「以下、全県大会」は3回)以降で勝敗が確定した時はコールドゲームを適用します。ただし、雨天等により一時中断しても、時間や試合が可能な球場等に会場を変更して行う場合があります。全県大会は、この時点で同点の場合、出場選手9人によるジャンケンで勝敗を決めます。(決勝戦を除きます。)
- ④ その他、上記規則に特別の定めがない事項については実行委員会・大会本部役員及び審判員が協議のうえ決定します。



## 全国・全県 500歳・550歳野球大会規定

- ① 次のケースは、没収試合の対象となる。
  - ゲーム出場選手の合計年齢が500歳以上(550歳野球大会は550歳以上)を満たしていない時。
  - 大会本部・審判員の決定に従わず、大会の権威を汚す行為(ボイコット等)をした時。
- ② 試合に出場するチームは、出場する前試合の5回(全県大会は3回)が終了した時点で、直ちに大会本部へ先発メンバー表4通(全県大会は3通)及びチーム全員分の個人カードを提出すること。ただし、各日第1試合については試合30分前に提出すること。
- ③ 次試合の先発バッテリー1組に限り、5回(全県大会は3回)以降ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。
- ④ 予定時間前でも試合を開始する場合がある。この時、前試合終了後20分を経過しても試合の準備が整わない場合は、そのチームを棄権とみなす場合もある。
- ⑤ シートロックは5分間とする。ただし、大会運営上、シートロックを行わずに試合を開始することもある。
- ⑥ 選手交代時は、審判にタイムを要求し本部へ口頭で行う。(個人カードの受け渡しは不要)
- ⑦ 試合終了後、両チームの代表者は本部において試合記録の確認を行うこと。また、この際に勝利チームの代表者は次試合用のメンバー表を本部から受け取ること。
- ⑧ 試合球は、ケンコーボールM号を使用する。
- ⑨ ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えは行わない。
- ⑩ 荒天等により、大会期間中に全試合が消化できない場合、大会の中止もしくは延期については、主催者の判断により決定する。
- ⑪ 試合終了後は、チームの勝敗に拘わらずグラウンド整備をすること。
- ⑫ 試合上のケガについて主催者は、一切責任を負わない。また、参加チームは傷害保険及び賠償責任保険等にチーム責任として必ず加入すること。
- ⑬ その他、上記規定に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとする。





## 再度出場の規則(代打代走)



**常に9人の合計が500歳(550歳)以上になっていること**

- ◎ 打者に代わって代打者、走者に代わって代走者が出場できるが、打者、走者共に打順表の中でその順番が固定されており、多様な選手交代によって打者の打順を変えることはできないので、特にご注意願います。  
※守備位置が変わっても、打順は1試合を通じて固定されます。

打順	1	2	3	4	5	6	7	8	9
打者	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	J	K							

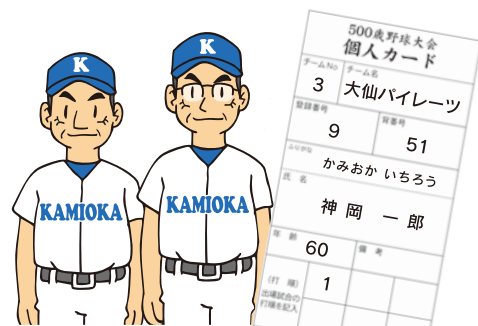
例) 1番のAにJが代打、2番のBにKが代走で出場したとき、試合終了までAとJが1番打者で、BとKが2番打者となる。

## 選手交代時の年齢確認について

- ① 選手交代時は、審判にタイムを要求し本部に口頭で行ってください。(個人カードの受け渡しは不要です)
- ② 交代選手が確認できた段階で、審判は年齢計算を待たずにプレイをジャッジします。
- ③ 会場本部は、プレイ中に年齢計算をして、合計年齢確認の結果、万一年齢に不足が生じていても本部からは公表しません。(プレイを止めない)
- ④ 相手チームから、合計年齢不足を根拠とした計算年齢を提示した訴えがあった場合のみ、確認した合計年齢を公表し、実際に年齢に不足が生じている場合は、両チームの監督に確認し、選手交代を行います。尚、全県大会においては大会本部の指示を得た段階で没収試合とする場合があります。

## プレイボール直後の選手交代

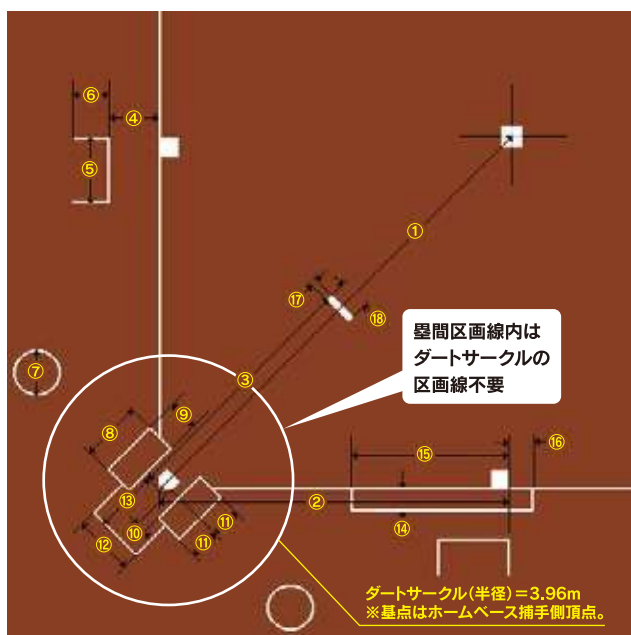
- ◎ 先攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、1番打者に代打を適用する。(OK)
- ◎ 後攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、守備の交代を適用する。(野手はOK)(投手は、第1打者と対決する義務があるのでNG)



## アピール・クレームについて

年齢計算などの規定違反に対するアピール・クレームについては、現に規定違反となっている時点でのみ受け付けます。規定違反時点が過ぎてから、もしくは試合終了後のアピール・クレームについては、受け付けません。

## グラウンド区画線の長さについて



長さ	位置	長さ(m)
①	対角(塁)間	32.50
②	各 塁 間	23.00
③	投手板/本塁間	16.00
④	ファールライン/	3.00
⑤	コーチスボックス	5.14
⑥	コーチスボックス	2.54
⑦	ネクストバッター	1.30

※①～⑦、⑩～⑬は学童野球規則、  
⑧～⑬(太字)は一般野球規則に準拠

長さ	位置	長さ(m)
⑧	バッターボックス	1.83
⑨	バッターボックス	1.22
⑩	本塁/バッター	0.15
⑪	⑧ の 半 分	0.91
⑫	キャッチャース	1.09
⑬	本塁/キャッチャース	2.44
⑭	3フィートライン	0.91
⑮	3フィートライン起点	11.50
⑯	一塁/3フィートライン	0.91
⑰	投 手 板	0.15
⑱	投 手 板	0.61

## 外野フェンスの張り方



ホームベースの  
この頂点が基点です



# Q&A



## 選手の服装・着用品等について

Q. スパイクの色は別々でもいいのか？



A. 金属製金具のついたスパイクの使用は認められておりません。それ以外のスパイクであれば、色は自由とし全員同色でなくても構いません。運動靴の使用も可とします。誤って金属製スパイクを着用した場合は、直ちに履き替えていただきます。

Q. ランナーコーチが着用するヘルメットは、バッターヘルメットと同色でなければいけないのか？



A. 安全対策が趣旨であるため、同色でなくても良いが、できるだけ統一してください。

Q. ストッキングは同一色のものであれば、どのような形状でも良いのか？



A. 同一色であれば、形状は問いません。

Q. サングラスの着用は可能か？

A. 可能です。種類も問いませんが、プレーに適したサングラスの着用をお願いします。ただし、投手は使用できません。



Q. パンツスタイルが多様化しているが、チーム内で混在していても良いのか？

A. レギュラー・ロング・エクストラロング・足掛け式ストレート等様々なスタイルのパンツがありますが、チーム内で混在しても可とします。ただし、スポーツマンらしい着こなしとしてください。

Q. 新人のチーム員にユニホームを新調する場合に、胸番号・袖マーク・背ネーム・パンツ番号まで統一しなければならないのか？

A. 現ユニホームも、数年後には廃盤になります。メーカーや素材が違っていてもデザインが統一されていれば可とします。また、胸番号・袖マーク背ネームは出来るだけ統一していただきたいと思いますが、メーカーの事情等により付いているものと付いてないものが混在しても可とします。

Q. 背番号に関する規定はあるか？

A. 監督、主将等の背番号規定は特にありません。また、番号についても自由ですが、試合に出場する選手は必ず背番号をつけていただきます。



# Q&A



## その他

Q. 全県500歳野球大会の開会式にはどの程度の人数の選手を参加させるべきか？

- A. 原則的には登録選手全員での参加です。  
 ただし、  
 ※1日目の第1試合と第4試合以降のチームは5名以上参加すること。  
 ※2日目以降に試合があるチームは開会式に自由参加とする。

Q. 準決勝第2試合終了から決勝戦試合開始までのインターバルについて

- A. 最長で1時間以内とします。

Q. 時間制限の適用について

- A. 次により時間制限が適用となります。

ケース①	チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
	A	0	0	2	0	3	1		6
	B	0	0	0	0	2			2

[Aがリードの6回表に試合時間に達した場合] ⇒6回裏の攻撃まで行う。

ケース②	チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
	A	0	0	2	0	0	1		3
	B	0	0	2	0	2			4

[Bがリードの6回裏のBの攻撃中に試合時間に達した場合]  
 ⇒試合時間に達した時点で試合終了となるが、そのときの打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この打者の記録までを有効とする。

Q. 監督がプレーヤーと協議するために要求できるタイムの回数は？

**3回**

- A. 1試合中、選手交代とは別に、「監督またはコーチが投手の所へ行く回数」「守備側」、「攻撃側」が要求できるタイムは、それぞれ3回までとします。なお、タイ・ブレイク時は1イニングにそれぞれ1回、要求することが出来ます。

Q. 雨天・日没で5回以降勝敗が確定時はコールドゲームを適用する場合がありますが、どのような基準で判断するのか？(全県大会は5回を3回と置き換えます。)

A. 次により主催者が判断します。

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
5回に満たない	特別継続試合		
5回以降同点	特別継続試合	ジャンケン(決勝戦を除く)	
5回以降勝敗が確定	5回以降の均等回の得点で勝敗を決定する。(決勝戦を除く)		

[雨天・日没コールドゲームの得点の扱い]  
 全て均等回の得点とします。例えば両チームが5回の攻撃を均等に完了し、6回表に先攻チームが得点したが、後攻チームはその裏、同点もしくはリードしないままに暗黒・降雨などにより試合中止を宣せられたような場合は、均等回の得点をもって勝敗を決する。

ケース①	チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
	A	0	0	0	3	0	1		3
	B	1	0	0	0	0			1

ケース②	チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
	A	0	0	1	0	0	5		1
	B	0	2	0	0	0			2



Q. 登録外選手または背番号が違う選手が出場した場合の対応について

- A①. 大会プログラムの登録番号と実際に着用しているユニホームの背番号が違う場合はメンバー表の交換の際に申し出て、相手チームの代表者が了承した場合は、出場を可とします。
- A②. 登録選手間の背番号のつけ間違いが判明した場合は、判明した時点で正しく改めさせて試合を継続します。
- A③. 登録外選手(大会プログラムに記載されていない選手)または、背番号が違う選手が出場した場合は、その選手の出場を差し止め、ベンチから退去させたくうえで、チーム自体の没収試合とはしません。



## 個人カード記入の仕方について

このカードは、スピーディな選手交代と年齢計算を行うために導入しています。  
記入する際には、下記の事項に注意してください。

- ① チームNoにはチームの抽選番号を、チーム名には正式名称を記入してください。
- ② 登録番号 (No.)、背番号は開会式当日に受付で配布する「大会プログラム」に記載されている番号と相違ないことを必ず確認してください。
- ③ 氏名はフルネームで記入し、打順は当該試合の固定打順を記入してください。  
※年齢も忘れずに記入し、誤字・脱字にはご注意願います。
- ④ ボールペンまたはサインペンなどの消えにくく見やすいもので記入してください。(打順については鉛筆で記入してください)

### 記入例

500歳野球大会 個人カード			
チームの抽選番号	チームNo	チーム名	
①	3	大仙パイレーツ	
	登録番号	背番号	
②	プログラムの通し番号	9	51
	ふりがな	かみおか いちろう	
	氏名	神岡 一郎	
③	年齢	60	備考
	(打順) 出場試合の打順を記入	1	鉛筆で記入
	(守備) チームでは記入しない		

※      の欄はボールペン等で記入してください。  
※「大会プログラム」と相違ないことを確認してください。



NO	区分	大会回数年度	所属チーム	選手名	備考
1	大会第1号本塁打	1 S 54	神宮寺嶽クラブ	高橋 精力	
2	最年長本塁打(72歳)	39 H 29	若美OB会	落合 一男	
		42 R 4	田沢湖駒陽クラブ	高橋 幸夫	
3	通算最多本塁打(22本)		八郎湯セイルス	千田 清	
4	大会最多本塁打(6本)	38 H 28	秋銀クラブ	京 春木	
		9 S 62	秋田営林局OB	奈良 吉丸	
		30 H 20	秋銀クラブ	笹山 大誠	
		38 H 28	秋銀クラブ	京 春木	
		39 H 29	八竜OB	田中 政喜	内2本は1インング連続打席
5	1試合最多本塁打(3本)	42 R 4	追分野球クラブ	船木 和人	
		45 R 7	タツメースポールクラブ	川村 和巳	
		15 H 5	角間川角球クラブ	森川 幸雄	
		38 H 28	秋銀クラブ	京 春木	
6	連続打席本塁打(4打席連続)			千田 清	
				千葉 昇	
				加賀谷 貴男	
7	1インング最多連続本塁打(4者連続)	30 H 20	八郎湯セイルス	小野 孝	
				島村 達也	
				鈴木 浩康	
				島村 達也	
				高橋 公男	
8	1インング最多本塁打(5本)	42 R 4	四ツ屋ベースボールクラブ	鈴木 健一	
				高良 博美	
				利部 敬次	
				田中 栄治	
9	連続打席安打(11連続安打)	25 H 15	秋田東部クラブ	高良 博美	
10	最年長先発投手(83歳)	42 R 4	E・ベアーズ	利部 敬次	
11	最年長完封投手(71歳)	30 H 20	船川OB	田中 栄治	
12	完全試合	5 S 58	新屋日新クラブ	斉藤 政雄	3回
				泉谷 敏夫	2回
		21 H 11	大住クラブ	小坂 清七	3回
				相原 由重	2回
		22 H 12	秋田市役所OB	吹谷 仁	2回
				荻原 久	2回
				中島 義博	1回
		25 H 15	新屋日新クラブ	伊藤 俊明	3回
				佐々木 清策	2回
		26 H 16	和田クラブ	高橋 善孝	5回
		26 H 16	三菱マテルアルOB	藤井 武実	5回
				小野 孝	3回
		28 H 18	八郎湯セイルス	三戸 賢一	1回
				三戸 達也	1回
		29 H 19	ナイスミドルOB	藤林 正樹	5回
				小松 武	2回
		30 H 20	秋銀クラブ	柴田 一郎	2回
				小松 武	1回
		31 H 21	横手クラブ	平元 久雄	3回
				藤原 利雄	2回
32 H 22	田沢湖駒陽クラブ	東海林 良明	3回		
		林 利男	2回		
33 H 23	井川町名球会OB	藤田 道明	3回		
		伊藤 宗夫	2回		
33 H 23	中仙クラブ	小松 満	5回		
34 H 24	大曲クラブ	藤谷 弘志	5回		
34 H 24	比内クラブ	吉原 忠敏	3回		
		小倉 博隆	2回		
38 H 28	昭和愛球会	辻 陽	5回		

12	完全試合	39 H 29	横手クラブ	伊藤 栄喜	3回
				平元 久雄	2回(3回大会に続き2回目)
		45 R 7	白岩OB会	藤井 泰俊	3回
				高橋 和浩	2回
13	1試合9連続奪三振	35 H 25	明徳クラブOB	伊藤 敏春	1・2・5回3インング
14	連続優勝(3連覇)		秋銀クラブ		第27回~第29回
15	最年長出場選手(87歳)	43 R 5	湯沢市役所OB	須田 治哉	

全国・全県500歳野球大会の歴史

	全県500	全国500	
昭和54年	第1回大会		●第1回大会が8チームにより開催 船川OBと駒陽クラブが同時優勝 ●大会第1号本塁打 神宮寺嶽クラブ 高橋 精力
昭和63年	第10回大会		●高齢者表彰開始
平成元年	第11回大会		●厚生労働大臣杯が惠贈される
平成6年	第16回大会		●大会歌「時、限りなく」制定
平成9年	第19回大会		●グッドマナー賞が制度化
平成15年	第25回大会		●大会第1000号本塁打 船川OB 船木 昭悟
平成25年	第35回大会		●大会第2000号本塁打 金浦ブルーフィッシュ 阿部 一之助
平成26年	第36回大会		●文部科学大臣杯が惠贈される ●全県500歳・550歳野球大会 ルールブック完成
平成27年	第37回大会		●内閣総理大臣杯が惠贈される
平成28年	第38回大会	プレ大会	●全国500歳野球プレ大会が開催される ●第8回沖縄国際映画祭にて よしもと興業制作のドキュメンタリー映画 『500歳野球～オヤジ達の甲子園～』 が出演される ●全国500歳野球大会ルールブック完成
平成29年	第39回大会	第1回大会	●第1回全国500歳野球大会が開催 ●第5回スポーツ振興賞にて 「経済産業省 商務情報政策局長賞」を受賞
令和元年	第41回大会	第3回大会	●全国全県500歳・550歳野球 共通ルールブックへ変更
令和2年	第42回大会	第4回大会	●初の大会中止 (新型コロナウイルス感染症予防対策のため)
令和3年	〃	〃	●2年連続大会中止
令和4年	〃	〃	●大会第3000号本塁打 四ツ屋ベースボール倶楽部 高橋 公男
令和5年	第43回大会	第5回大会	●第5回大会が大雨により中止



# 500歳野球の歴史



500歳野球のきっかけとなったのは、昭和53(1978)年に行われたある野球の紅白試合。県野球協会会長をつとめていた、故高橋政泰氏の提唱により、実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOB達が集まり、熱戦を繰り広げました。

翌54年6月、「神宮寺嶽クラブ」の新調のユニフォームを着用した28名は再び紅白試合を行い、さらに7月1日には町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北500歳野球大会」を開きました。

これら二度の紅白試合と郡市大会を行い、自信をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主管で、記念すべき「第1回全県500歳野球大会」が行われたのです。



【編集】大仙市・秋田魁新報社  
(500歳・550歳野球大会実行委員会)

【監修】大仙市野球連盟 神岡南外支部

お問い合わせ先  大仙市観光文化スポーツ部  
スポーツ振興課

〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1-1  
TEL.0187-63-1111 FAX.0187-63-1119